

インマヌエル中目黒キリスト教会 2013年3月24日 聖日礼拝

「十字架の風景 ～すぐそこにある恵み」

ルカの福音書23章32-43節

河村 従彦 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ルカの福音書23章 32-43節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp153~/ 第三版の聖書はp167~

説教

「十字架の風景 ～すぐそこにある恵み」

ルカの福音書23章32-43節

河村 従彦 牧師



I 主の憐れみを求めた人

A 十字架の意味

1 三つの「ともに」

23:32 自分の姿を知ったとき

24:15 希望が失われたとき

23:43 永遠への思いを抱くとき

2 イエスさまがともに、が鍵

B それはどのような時？

- 1 自分が罪の中にあることを知る時
- 2 自分の人生を評価・総括するとき
→イエスさまがともにいてくださる

C そのときにわかること ～赦しのすばらしさ

- 1 赦されているから生きられる
- 2 神さまの一方的な恵み
～全部を受けとめてくださること
- 3 そのすばらしさを妨げるもの
～自分で自分を立派にできる？

II 十字架の二人

A 二人の違い

B 悔い改めたほうか悔い改めなかったほうか

C 聖書を読むときの視点
勝ち組心理？ 一つの挑戦

III 開きなおった人

A 風景と心情

1 絶望

2 激しい葛藤、罪責感、混乱

3 ねじれた怒り ~嫉妬と羨望 どうしてあのようにスパッと？

B 真剣に悔い改めることさえ
出来ない者の側にも.....

1 悔い改めることができる人とそうでない
人？

2 そういう自分の横にも十字架は立っている

C 恵みをいただくとは ～悔い改めの意味

1 一般的な内容

反省

悲しみ

方向転換

～神さまと反対の生き方から、
神さまに向かう生き方へ

2 もう少しフォーカスを絞って……

3 大切な点

自分でどうにかすることではない
神さまと共にあること、
神さまの愛に生かされていること
だから、自分でやる必要がないこと
→安心してそこにいること
これに気づくこと

- ### 4 自力に頼りたくなる人間の弱さ
- 自分の悔い改めに自信？
自分の悔い改めに安心？

D この人物は？

1 悔い改めたかどうか

聖書の記録からだけでは何とも
人生の総括は神さまの愛以外には
意味がない

2 十字架の意味

わずか3メートルのところに全部の解決

3 神さまの国の特徴

4 恵みの候補生

しめくくりには心にとどめたいこと

1 人間の罪には上も下もない

2 この手紙の意味

3 神さまの恵み

～手を伸ばせば届くところにあった

4 十字架上のキリスト

～とことん耳を傾けてくれる人

5 わたしたちの人生の評価

～恵みはすぐそこにあった！

6 主がしてくださると信じるのが信仰

手を伸ばせないことがわかったとき……